ver.2.0

参考資料６

在宅生活改善調査
集計結果

島原地域広域市町村圏組合

発送事業所数：49件

回収事業所数：47件

回収率：95.9%

（注1）不正確な回答や無回答等がある場合、正確な集計結果となっていないおそれがあります。エクセルファイルに入力したデータを良くご確認ください。
（注2）グラフのレイアウト等を変更する場合は、エクセルファイル上のグラフを修正の上、このファイルに貼り直してください。
（注3）構成比を示す表は、セルの赤色が濃いほど100%に近いことを示しています。

【在宅生活改善調査】

調査の目的

・在宅生活改善調査では、**「過去１年間」**の、①自宅等から居場所を変更した利用者の行先別人数や②自宅等において死亡した利用者の人数、また、現在自宅等にお住まいの方で、**「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」**の、①人数や②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

調査の概要

・アンケートは、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきます。
各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答します。
・それぞれのケアマネジャーが判断する、「その方の生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

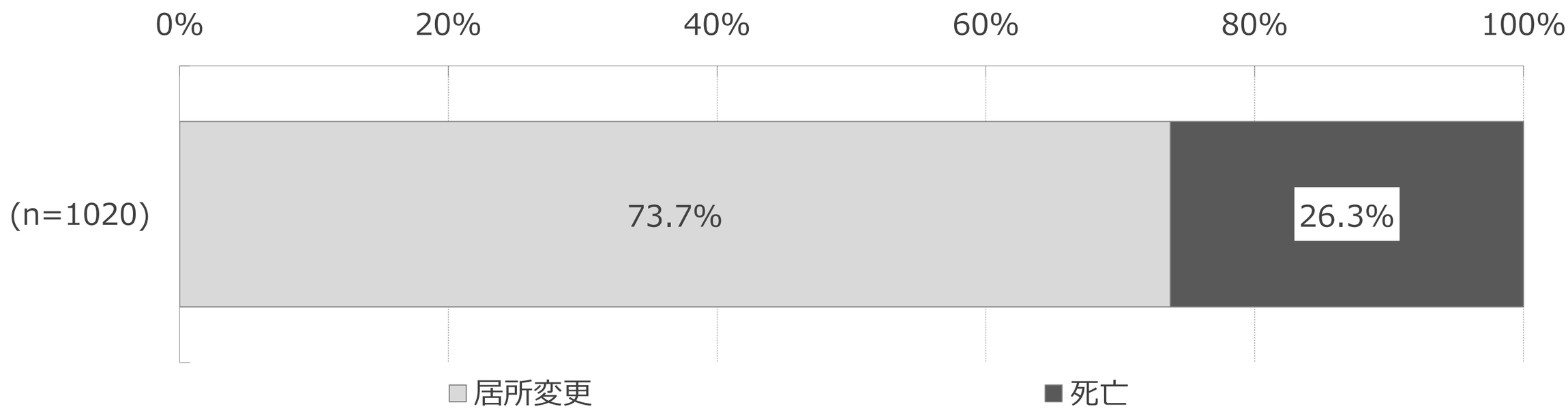
・過去１年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？
（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？
（サービス提供体制の構築方針の検討）

※ 特に生活の維持が難しくなっている理由や、必要な支援・サービスについては、アンケート調査の結果のみでなく、調査結果をもとに関係者間での議論を通じて検討することが重要です。

過去1年間の実績

過去1年間の実績

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



	粗推計	回答実数
島原地域広域市町村圏組合全体で、過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者数	784人	752人
島原地域広域市町村圏組合全体で、過去1年間に自宅等で死亡した利用者数	279人	268人

（注1）「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
（注2）「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間の実績

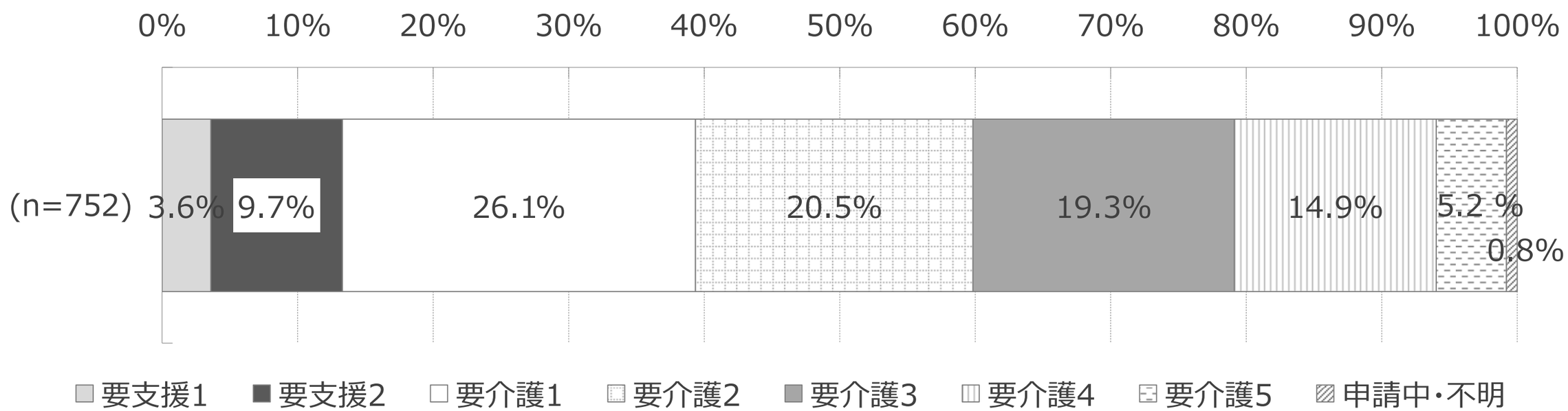
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	1人 0.1%	22人 2.9%	23人 3.1%
住宅型有料老人ホーム	68人 9.0%	6人 0.8%	74人 9.8%
軽費老人ホーム	9人 1.2%	0人 0.0%	9人 1.2%
サービス付き高齢者向け住宅	28人 3.7%	6人 0.8%	34人 4.5%
グループホーム	126人 16.8%	7人 0.9%	133人 17.7%
特定施設	30人 4.0%	3人 0.4%	33人 4.4%
地域密着型特定施設	0人 0.0%	1人 0.1%	1人 0.1%
介護老人保健施設	96人 12.8%	10人 1.3%	106人 14.1%
介護医療院	17人 2.3%	0人 0.0%	17人 2.3%
特別養護老人ホーム	119人 15.8%	11人 1.5%	130人 17.3%
地域密着型特別養護老人ホーム	36人 4.8%	0人 0.0%	36人 4.8%
病院・診療所	107人 14.2%	15人 2.0%	122人 16.2%
その他	32人 4.3%	2人 0.3%	34人 4.5%
行先を把握していない			0人 0.0%
合計	669人 89.0%	83人 11.0%	752人 100.0%

（注1）「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
（注2）表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

過去1年間の実績

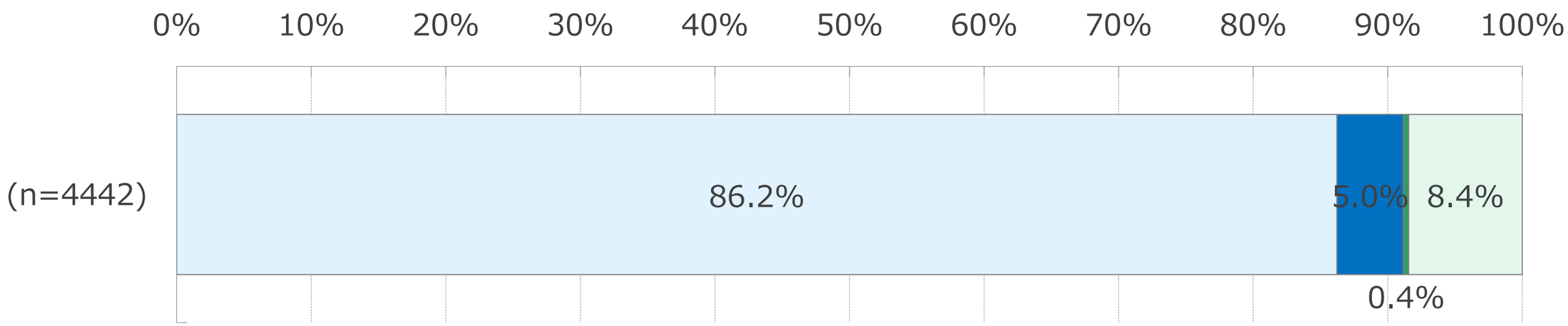
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



（注）「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

現在の利用者の状況

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

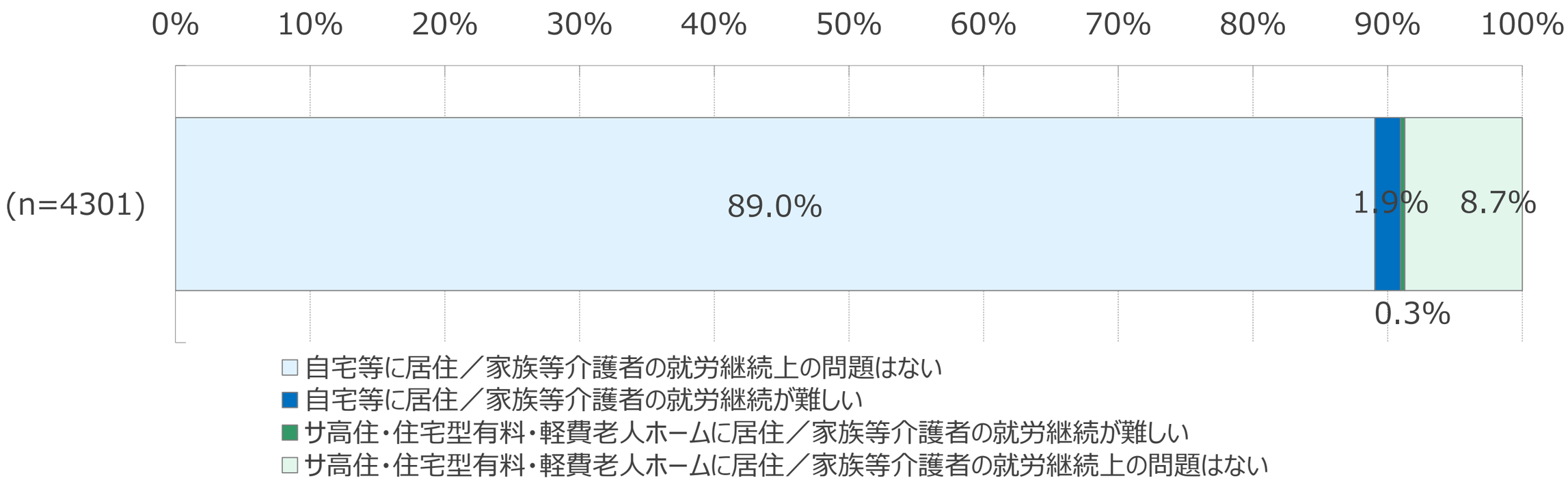
5.3%

島原地域広域市町村圏組合全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数

	粗推計	回答実数
合計	247人	237人
（要介護2以下）	179人	172人
（要介護3以上）	68人	65人

（注）「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住する利用者のうち、家族等介護者の就労継続が難しくなっている割合

2.2%

島原地域広域市町村圏組合全体で、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数

	粗推計	回答実数
合計	100人	96人
（要介護2以下）	67人	64人
（要介護3以上）	33人	32人

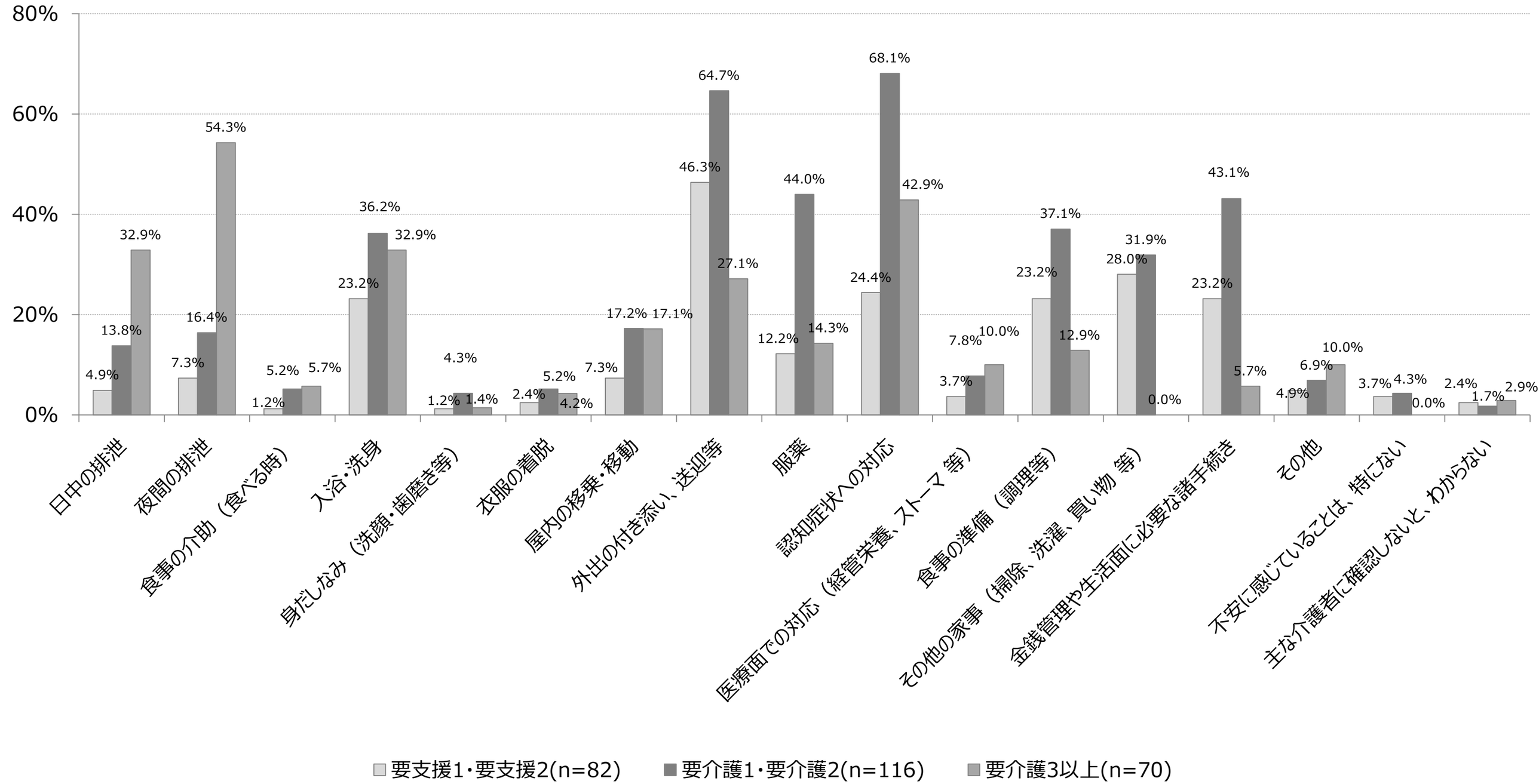
（注）「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

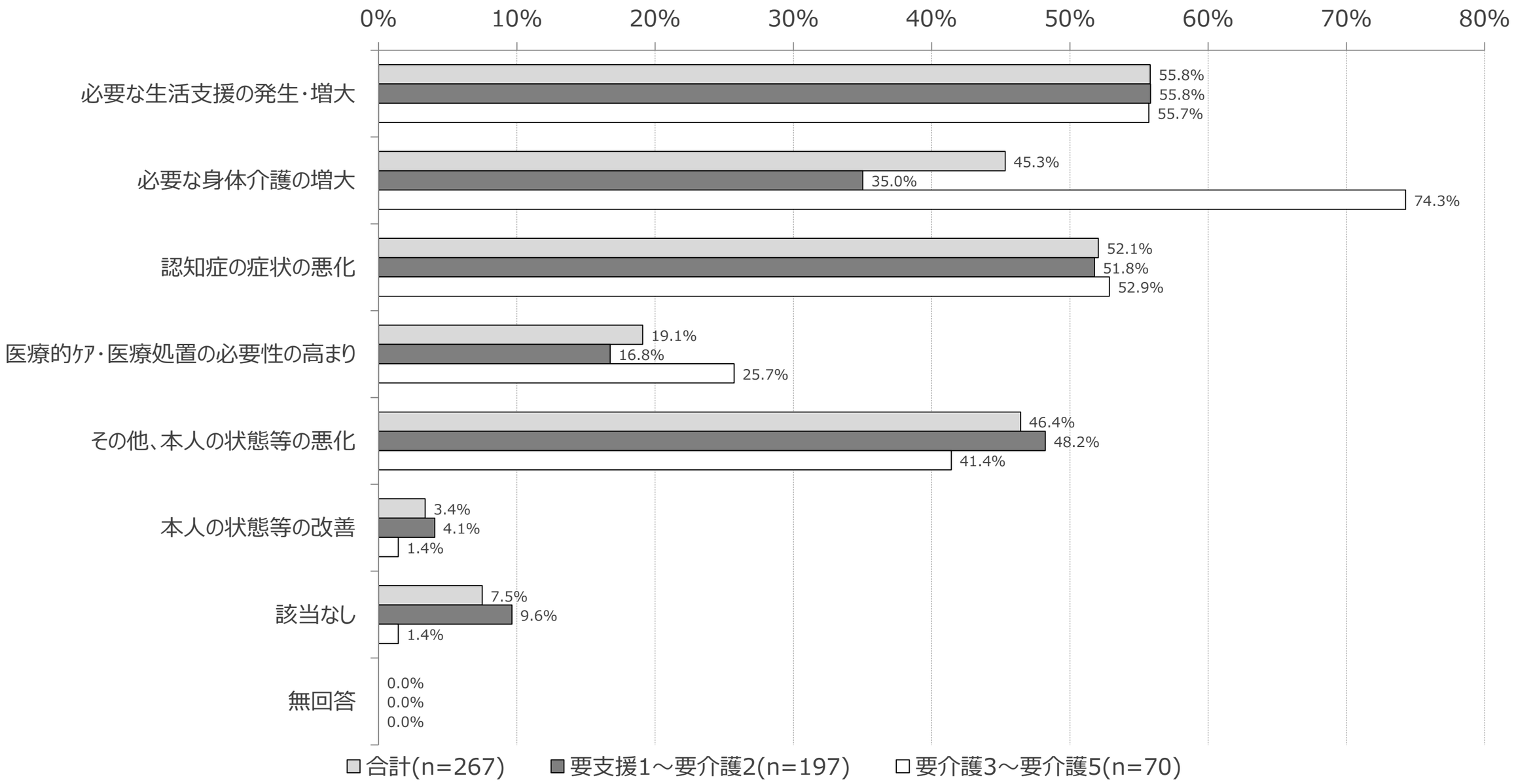
順位	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもとの同居	その他世帯	介2以下	介3以上
1	90人	94人	33.7%	★				★	
2	39人	41人	14.6%				★	★	
3	38人	40人	14.2%			★		★	
4	31人	32人	11.6%		★			★	
5	20人	21人	7.5%				★		★
6	17人	18人	6.4%		★				★
6	17人	18人	6.4%	★					★
8	15人	16人	5.6%			★			★
上記以外	0人	-2人	0.0%						
合計	267人	278人	100.0%						

（注）「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

現在、家族等介護者の負担になっている介護

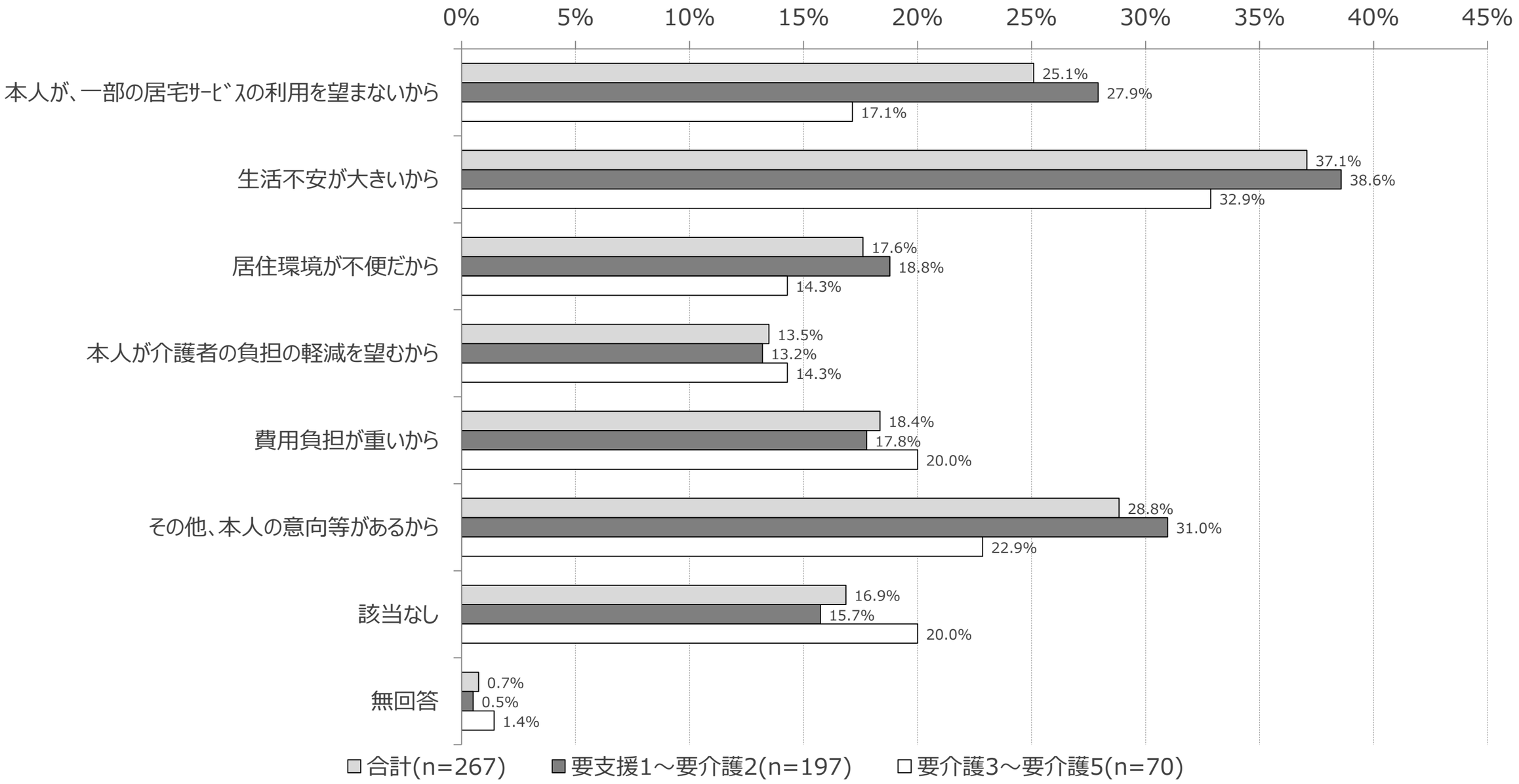


生活の維持が難しくなっている理由
（本人の状態に属する理由、複数回答）



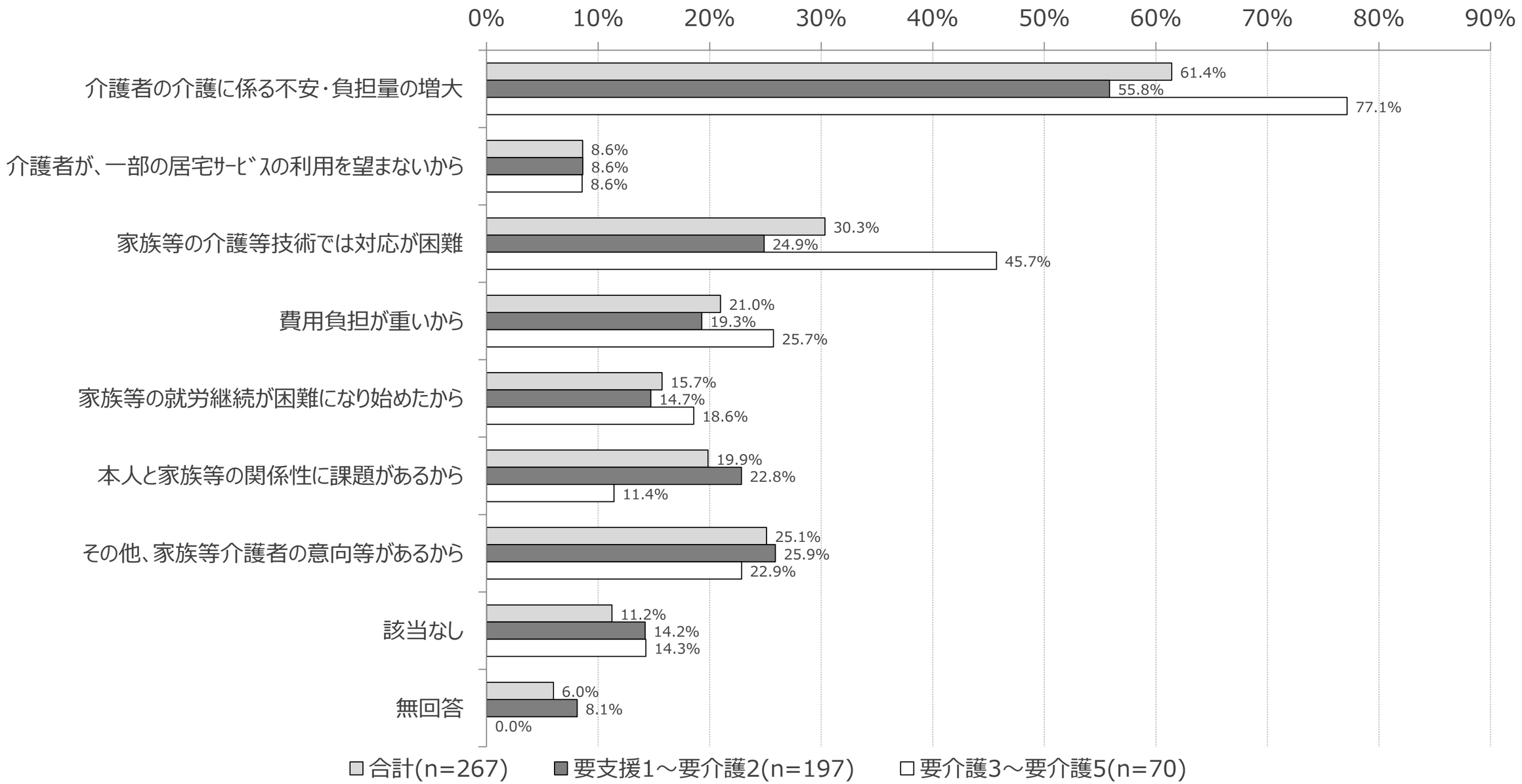
（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由、複数回答）



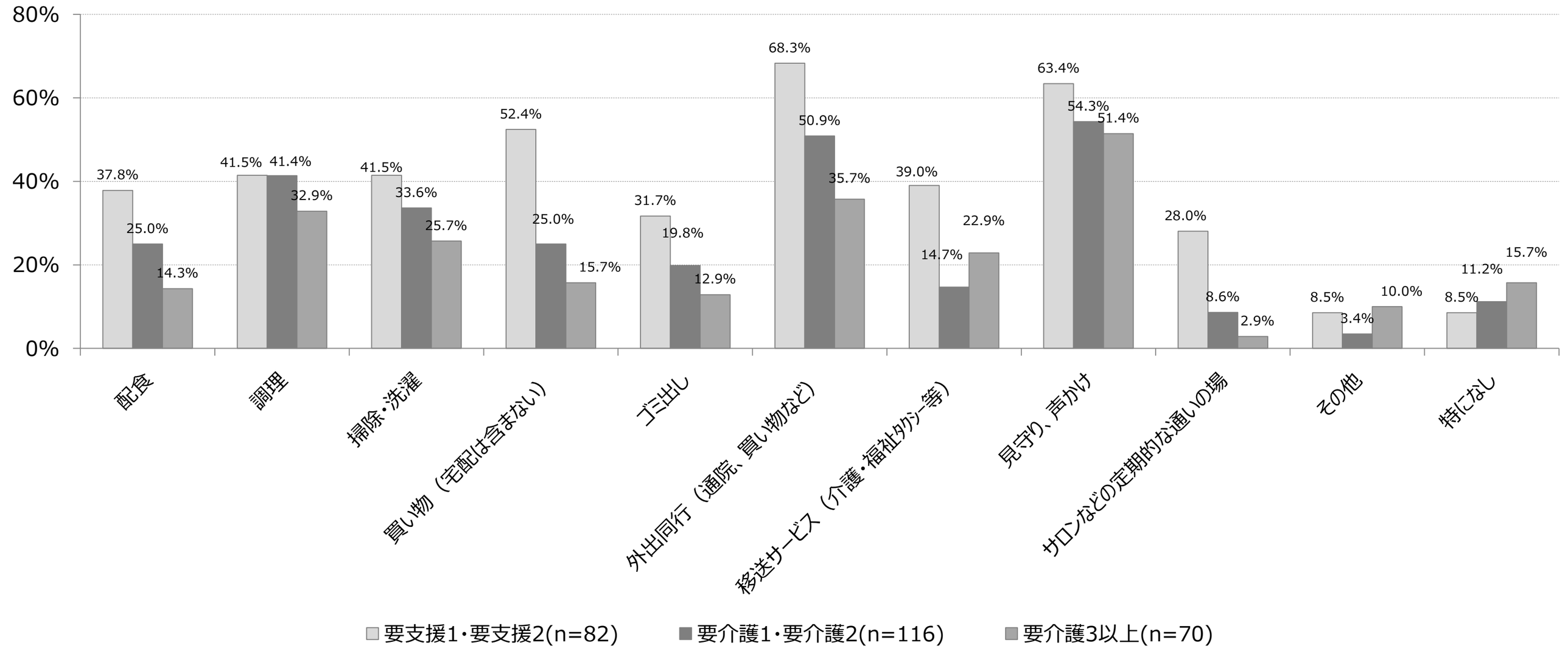
（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由
（家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答）

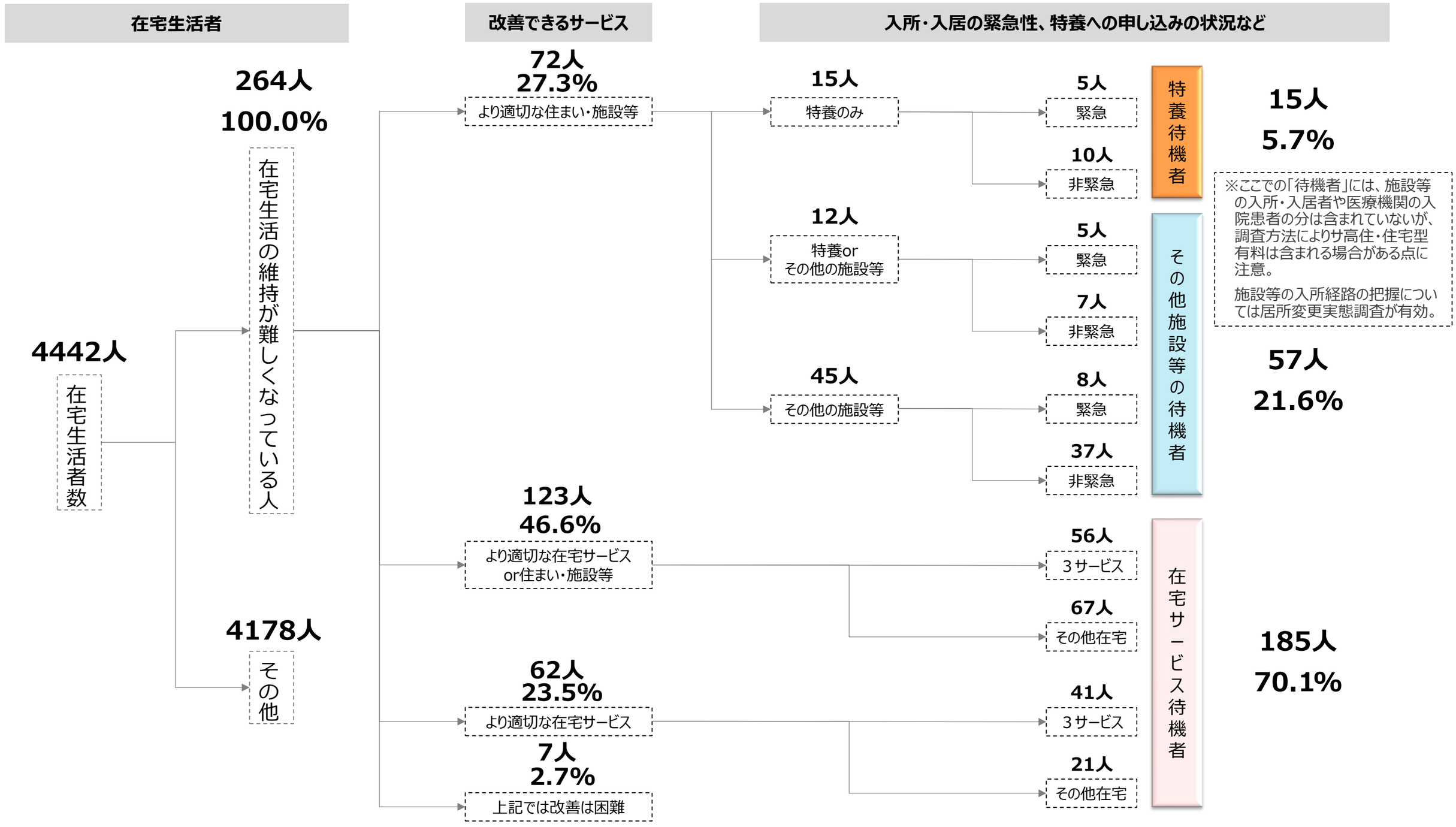


（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

本人の生活の維持もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な生活支援

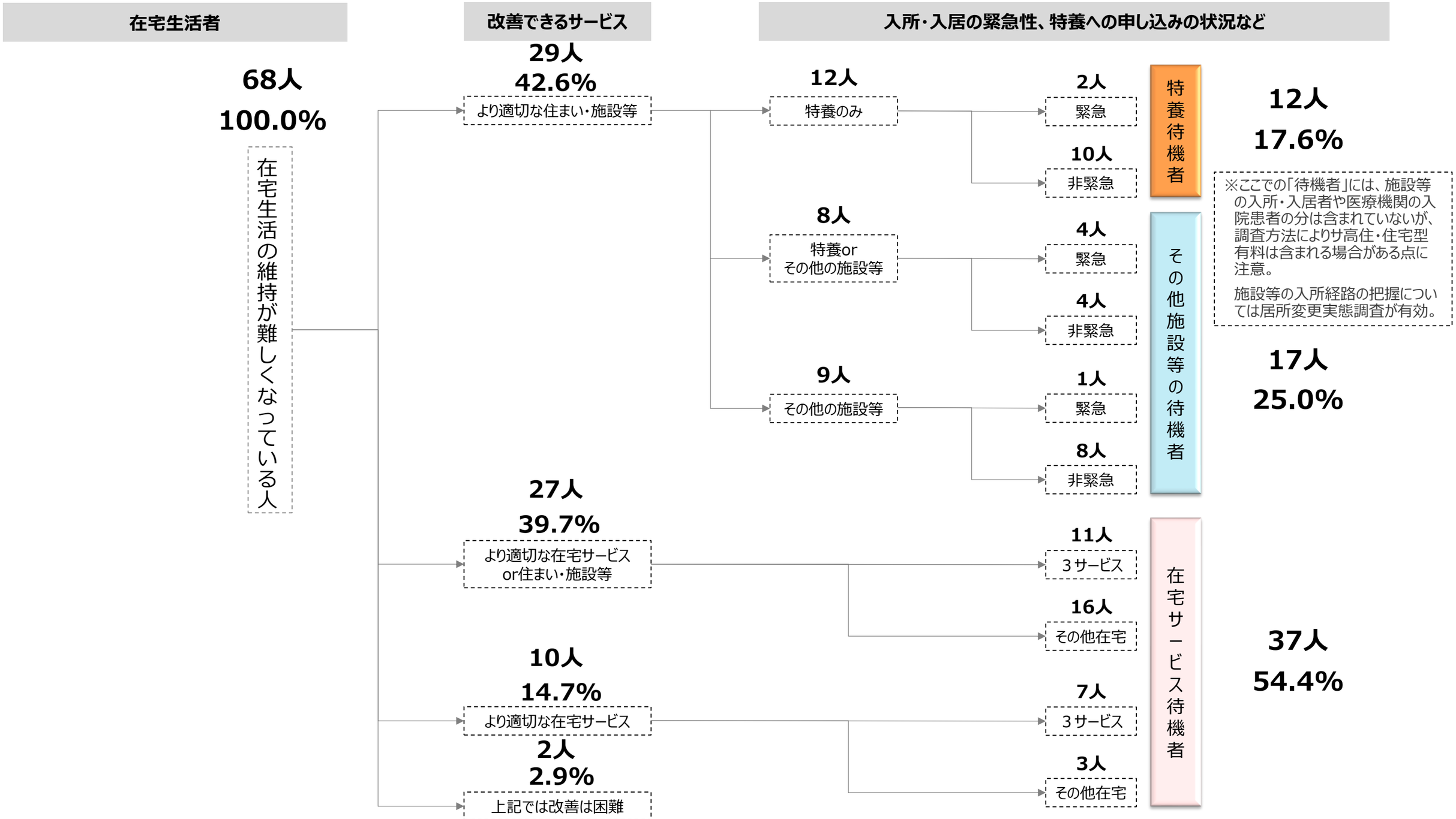


「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



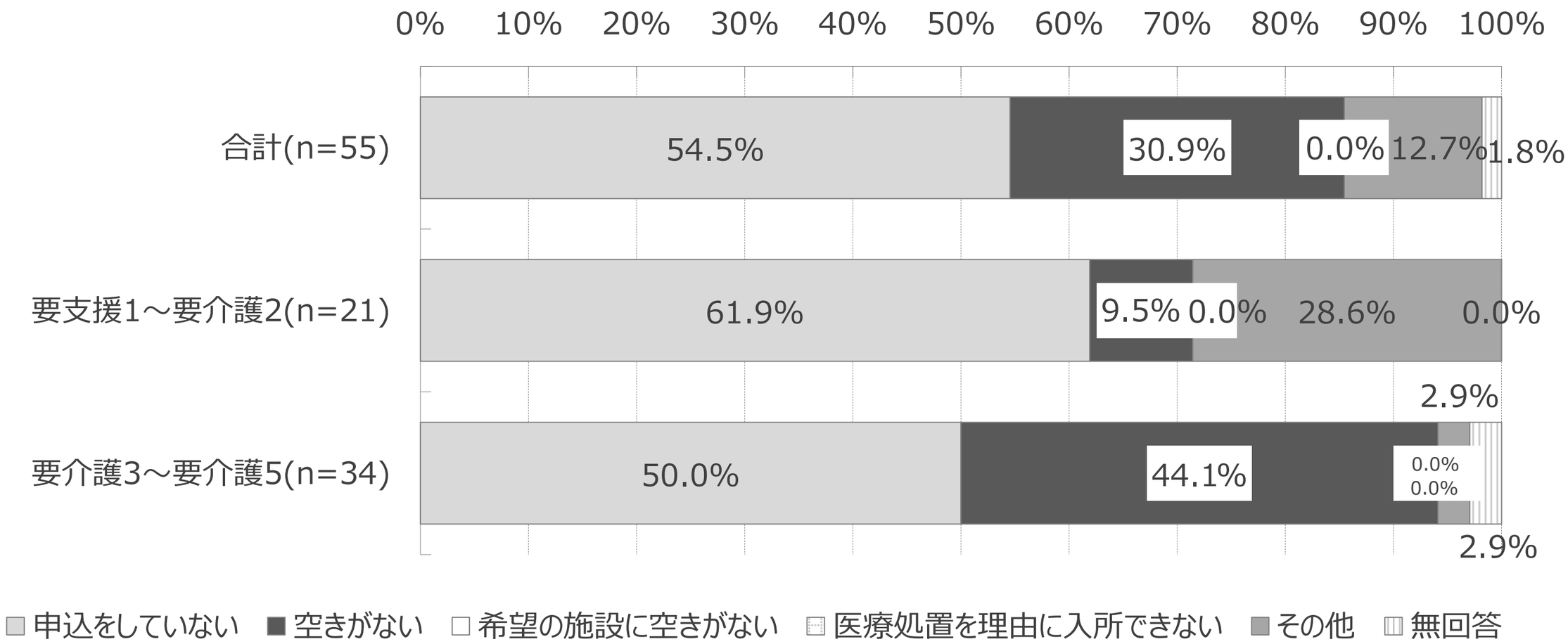
（注1）「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
（注2）「生活の維持が難しくなっている人」の合計267人のうち、上記の分類が可能な264人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、264人を分母として算出したものです。
（注3）「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
（注4）上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）



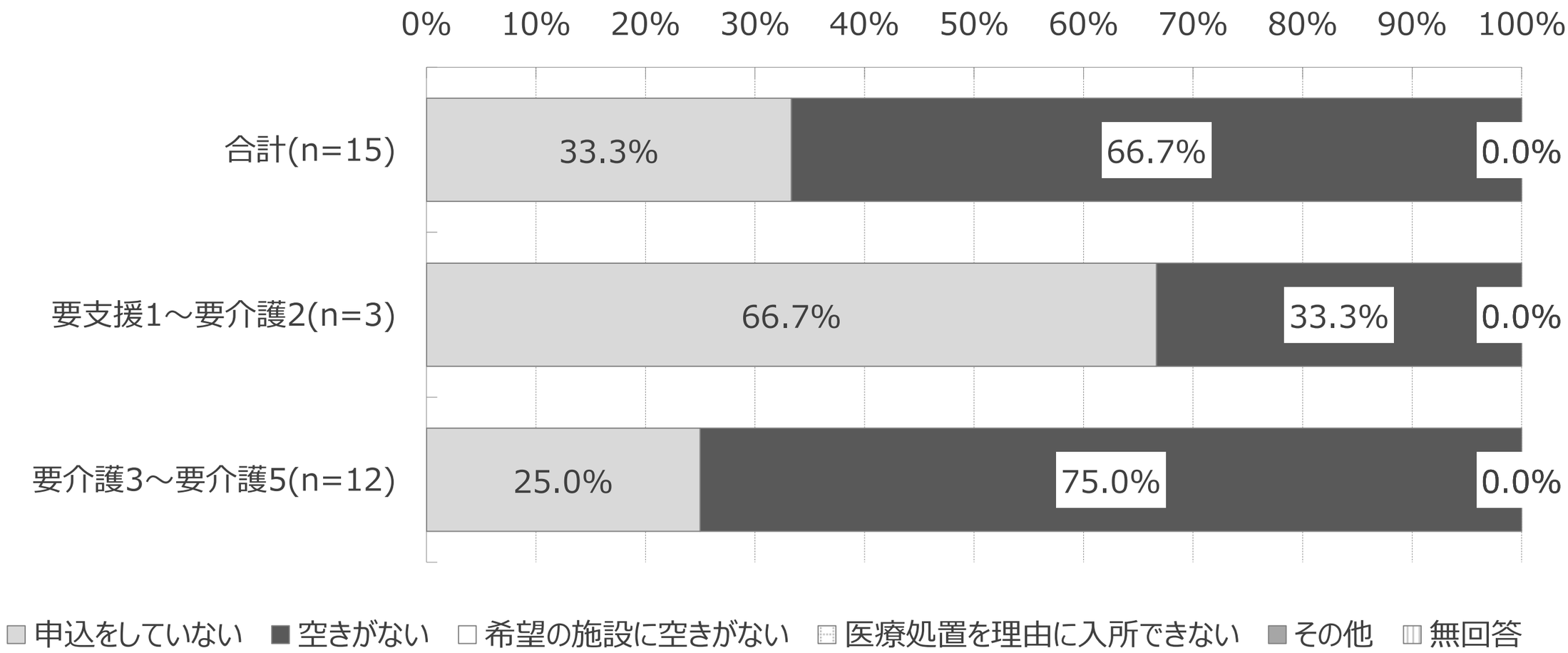
（注1）「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
（注2）「生活の維持が難しくなっている人（要介護3以上）」の合計70人のうち、上記の分類が可能な68人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（%）は、68人を分母として算出したものです。
（注3）「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
（注4）上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

特養に入所できていない理由
（改善に必要なサービスで、特養を選択した人）



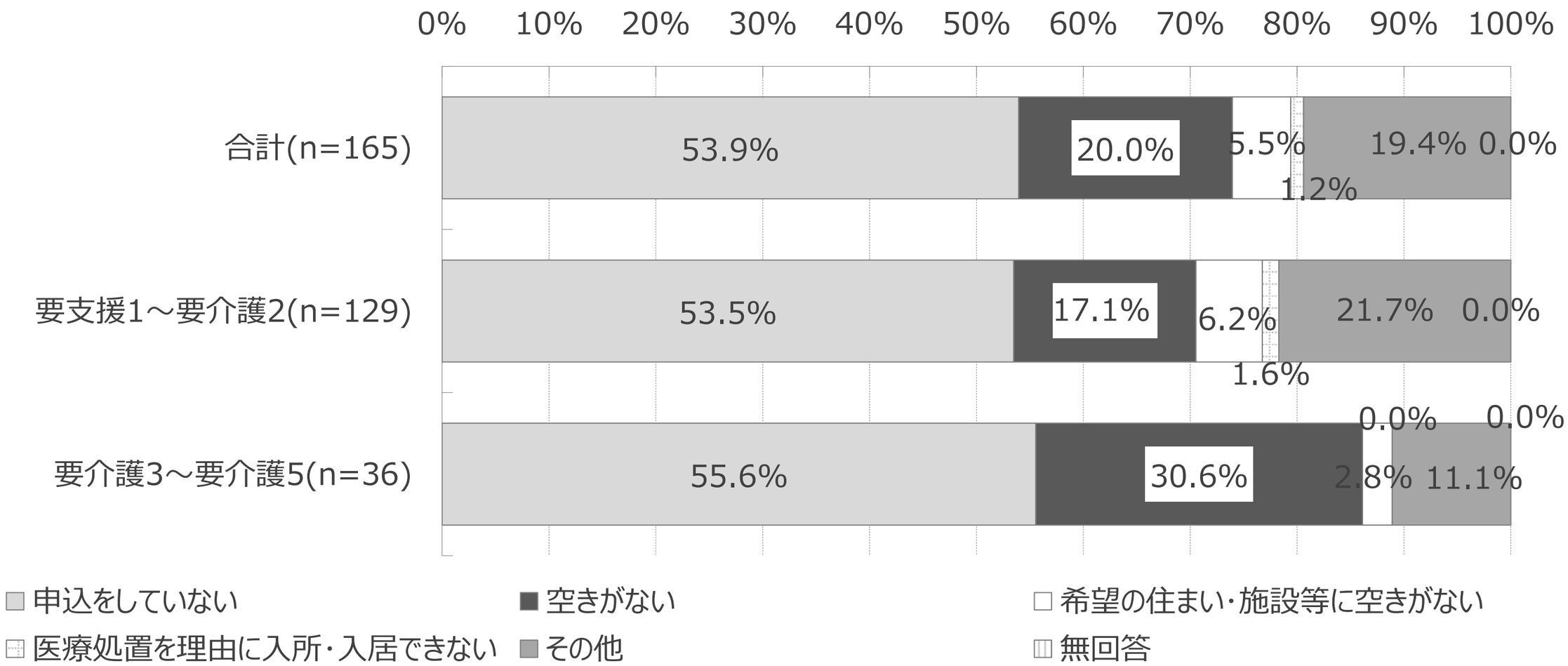
（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養に入所できていない理由
（改善に必要なサービスで、特養のみを選択した人）



（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。

特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由（改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人）



（注）「合計」には、要介護度が「新規申請中」の方や不明な方を含めています。